

平成 28 年度

京都府食育推進行動計画

[実績報告]



きょうと食育ネットワークマスコット
なす坊



京都府広報監
まゆまる

平成29年6月

京都府



1 取組一覧（実績）

担当または窓口	取組事項名	ページ	評価	推進計画の施策								推進計画の目標 の項目番号									
				世代に応じた			健康増進	家庭	ライフスタイル	京都ならではの	食品ロス										
				子ども	若い世代	壮年期															
農林水産部 食の安心・安全推進課	幼稚園・保育所の指導者向け研修会の開催	4	A	○																	
	子ども用調理器具貸出事業の創設	4	A	○																	
	食農体験農場の開設推進	4	A	○																	
	子ども達の自発的な学びと実践につながる食育マンガの作成	5	A	○																	
	府内の学校へ「お弁当の日」取組の働きかけ	5	A	○																2	
	大学生を対象にした料理教室の開催	5	A		○						○										
	京都における季節の行事食などの研修会の実施	6	A									○								11	
	きょうと食いく先生の養成講座と認定、派遣授業の実施	6	A	○	○					○		○									12
	食育シンポジウム等の開催	7	A	○	○					○											
	実践型食育講演会の開催	8	A	○	○	○	○	○	○	○	○										2
	食育団体が連携した食育活動の推進	8	B	○	○	○	○	○													
	「たんとおあがり京都府産」施設（京都府産農産物利用推進施設）の認定	8	A		○	○	○						○								4
	京野菜ランドによる宅配事業への支援	9	A				○				○										10
	食品表示法や機能性表示食品等に関する講習会の開催	9	A							○	○	○									5
	食の府民大学の講義の充実	9	A							○	○	○	○								7
	食の安心・安全意見交換会、フォーラムの開催	10	A							○	○	○									
	リスクコミュニケーション等の開催	11	A							○	○	○									
	食品ロス削減府民会議の開催	11	A																	○	
	食育強化月間における関係団体と連携した啓発	12	A	○	○	○	○	○	○	○	○										
	食のみらい宣言・実践活動表彰の実施	12	A	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○								9
イベント等での食育の啓発	13	A	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○									
きょうと食育ネットワーク団体による食育を支援する活動の登録と情報提供	13	A	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○									
京都府及び関係機関の「食」に関する情報の提供	14	A	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○									
きょうと食育ネットワーク団体による食育講座の情報発信	14	A	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○									
食育プラットフォーム参加者の拡大	14	B	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○									
教育委員会	高等学校保健体育課 学校教育活動全体を通じた食育の推進（新）	15	A	○																1	
	高等学校保健体育課 調理実習等の充実	15	A	○																1	
	保健体育課 地場産物を取り入れた学校給食の促進	15	A	○																3	
		地域の人材を活用した体験学習等の実施による生活実践力の育成（改）	16	A	○															1・12	
	保健体育課 採用選考試験等の実施	16	A	○																1	
	保健体育課 教職員研修の充実	16	A	○																1	
学校給食を活用した食育の推進		16	A	○															1・3		
福祉部 健康課 対策健康課	「きょうと健康おもてなし食の健康づくり応援店」の増加	17	A				○		○											6	
	「健康ばんざい京のおばんざい弁当」の販売数	17	A						○		○									13	

担当または窓口	取組事項名	ページ	評価	推進計画の施策								推進計画の目標 の項目番号		
				世代に応じた				健康増進	家庭	ライフスタイル	京都ならではの		食品ロス	
				子ども	若い世代	壮年期	高齢者							
山城管内	保健所北	働き盛り世代の生活習慣病予防を目的とした啓発	17	A		○	○			○				
		健康づくりイベントでの食育啓発活動	18	A	○	○	○	○	○	○				
	保健所南	家庭における食育推進をねらいとした啓発	18	A						○	○			
		農林振興工局部	山城マルシェの開催	18	A								○	
	山城産をおいしく食べられる食堂の登録開始		20	A	○	○	○	○	○			○		
	キッチンカーによる野菜畑等での料理講習会の開催		20	A						○				
	山城の農業や食の魅力を伝える山城産品インターネット販売の開始		21	A		○	○	○			○			
教育局山城	山城地方食育・学校給食研究協議会の開催	22	A	○										
南丹管内	農林振興工局部	直売所を巡るクイズラリーの実施（ぐるっと京都丹波ファーマーズマーケット）	23	A								○		9
		意見交換会の開催～おいしい京都丹波イチ推し!! & トク～	23	A								○		9
		「京丹波豆ONEグランプリ2016」の開催	25	A	○	○						○		9
		京都丹波産豆を使った新しい給食献立を提供	26	A	○							○		3
		おいしい食の応援隊（農作業ボランティア）の開催	27	A						○	○			9
		小学生椎茸菌打ち体験	27	A	○						○			9
		栽培から加工、調理まで行う食育（農業改良普及センター）	27	A	○									1・12
	ク全の南 トフ安丹 チロ心地 ーシ・域 ムエ安食	食の生産現場における安全対策を学ぶフィールドワークの実施	29	A								○		5
	南丹保健所	大学等を会場とした食育キャンペーンの開催（保健室）	29	A		○				○				9
		働きざかり世代への企業食堂を通じた健康づくり「けんこう食堂化プロジェクト」（保健室）	29	A			○			○				9
		「なんたん・かんたん・やさしい料理」レシピカードを活用した野菜摂取量向上の取り組み（保健室）	30	A						○	○			9
		きょうと健康長寿推進京都丹波地域府民会議食環境部会の開催（保健室）	30	A	○	○	○	○	○	○	○			9
	教育局南丹	南丹地区食育・学校給食研究協議会の開催	31	A	○	○				○				8・12
中丹管内	教育局中丹	食育に関する講演の実施（みんなでコラボin中丹）	31	A						○				
		「中丹地区食育・学校給食研究大会」の開催	32	A	○									1
	農林振興工局部	学校給食における地元産食材の利用と食育の推進	32	A	○									3
丹後管内	農林振興工局部	小学校の食育活動に対する支援	33	A	○									
	保健所丹後	食育フォーラムの開催	33	B	○	○								
		イベントでの食育体験コーナー等の設置	33	A						○				
		食育月間の取組	34	A						○				
	教育局丹後	丹後食育・学校給食研修会の開催	34	A	○									

担当または窓口	取組事項名	ページ	評価	推進計画の施策										推進計画の目標 の項目番号				
				世代に応じた				健康増進	家庭	ライフスタイル	京都ならではの	食品ロス						
				子ども	若い世代	壮年期	高齢者											
京都乙訓管内	乙訓保健所 乙訓教育局 京都乙訓農業改良 普及センター	特定給食施設である事業所における食習慣の改善に向けた取組	35	A				○										
	乙訓教育局	乙訓学校給食研究大会の開催	35	A	○													
農林水産部	振興課 農村課	子どもを対象とした農業体験の開催	36	A	○													
		高校生・大学生による農業関連実践活動	36	A		○												
	経営支援・担い手育成課 (丹後王国のみやこ)	府関連施設を活用した農林漁業体験（農業体験活動の推進）	36	A							○							
		府関連施設を活用した農林漁業体験（食を楽しみながら学ぶ機会の提供）	37	A							○							
	ドヘンタ 戦略課 流通・企画室 フラン	京都発！「食とみどりのサイエンスNOW」の開催	37	A							○		○					
		農林水産技術センター施設公開の開催	37	A	○	○	○						○					
	流通・戦略課	女性農業者による食育活動と農山漁村伝承技能保持者による技術伝承活動	38	A	○						○		○					
		農山漁村伝承技能の登録・認定	38	A				○					○					
	農産課	「京都米の良さ発見」提案事業の実施	38	A		○												
		京都米提供店の登録	39	A								○						
		茶育の推進	39	A	○													
		環境にやさしい農業に取り組むエコファーマーと消費者の交流会の開催	40	A								○						
	水産課	学校での水産教室の開催	41	A	○													
		都市漁村交流の促進	41	A	○	○	○	○										
商工労働観光部	経営支援・振興課 ものづくり	高齢者等への買い物支援	41	A						○								
		農林水産フェスティバルへの出展（実施主体：食品産業協会）	41	A							○							
		食品表示法・HACCP研修会の開催（実施主体：食品産業協会）	42	A							○							5
環境部	公園と星の見える丘 全課	郷土料理作り	43	A	○	○	○			○	○	○	○					
		おくどさん体験及び夕食づくり	43	A	○	○	○				○	○	○					
		石窯パン・ピザ作り	44	A	○	○	○				○		○					
		巨大パエリアづくり	44	A	○	○	○				○		○					
件数		86			48	30	24	18	29	28	20	26	1					

2 取組の展開


担当または窓口 食の安心・安全推進課		施策 世代(子ども)	目標 1 1
取組事項名	幼稚園・保育所の指導者向け研修会の開催		
取組の内容	<p>幼児への味覚の発達・調理力向上等を目的に、幼稚園・保育園等の指導者を対象とした研修会を実施し、幼児に対する調理実習の推進を図っていきます。</p> <p>目標：1回</p>		
取組の実績 評価A	<p>7月12日(火)、幼稚園・保育所の教諭、運営者等43名に参加いただき、幼児向け調理実習実施に向けての研修会を京の食文化ミュージアム・あじわい館で開催しました。キッズキッチンインストラクター5名から、3～5才児を対象とした調理実習の実演や実施に当たって注意点などについて講演いただき、参加者からは、自園で調理実習を新たに取組んでみたいとの声が上がりました。</p> <p>実績 1回</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>		

担当または窓口 食の安心・安全推進課		施策 世代(子ども)	目標 9
取組事項名	子ども用調理器具貸出事業の創設		
取組の内容	<p>子どもを対象とした調理実習を推進するために、子ども用の調理器具の貸出事業を創設し、子どもたちが調理を学ぶ機会の提供を支援します。</p>		
取組の実績 評価A	<p>新たに幼稚園・保育所向け子ども調理器具無料貸出事業を創設し、幼稚園等8施設に貸出を行いました。</p> <p>実績 貸出事業の創設・貸出箇所数 8施設</p>		



担当または窓口 食の安心・安全推進課		施策 世代(子ども)	目標
取組事項名	食農体験農場の開設推進		
取組の内容	<p>子どもたちが五感を使って、種まき・苗植え、草引き、施肥、収穫、調理など一連の農作業体験と食に関する学習ができる農場の開設を支援します。</p> <p>目標：きょうと食農体験農場及び体験ができる京野菜ランドの登録 55箇所</p>		

取組の実績 評価A	<p>食農体験農場及び京野菜ランドを登録するとともに、食農体験設備に対して支援することにより、食農体験の開設をすすめました。</p> <p>実績：きょうと食農体験農場及び体験ができる京野菜ランドの登録 56箇所</p>
--------------	---

担当または窓口	食の安心・安全推進課	施策	世代（子ども）	目標
取組事項名	子ども達の自発的な学びと実践につながる食育マンガの作成			
取組の内容	食育を分かりやすく子ども達に伝え、また、子ども達が自発的に食育できるきっかけとなるよう、テーマごとの食育短編マンガを作成します。			
取組の実績 評価A	<p>子ども達が食に興味関心を持ち、自発的な学びと実践につながるよう、食育啓発短編マンガを作成し、ダウンロードして小学校、特に高学年向けの食育の教材として使えるよう、京都府のホームページに掲載しました。</p> <p>実績：2編（栽培編、調理編）</p> <p>URL：http://www.pref.kyoto.jp/shokuiku/shokuikumanga.html （京都精華大学との包括協定マンガを活用した啓発事業として実施しました。）</p>			

担当または窓口	食の安心・安全推進課	施策	世代（子ども）	目標	2
取組事項名	府内の学校へ「お弁当の日」取組の働きかけ				
取組の内容	子ども達が自分でつくる「お弁当の日」を府内の学校に広めるため、府内での実践状況や取組等について、情報を提供します。				
取組の実績 評価A	<p>南丹市八木東小学校で開催される「感謝の弁当の日」にあわせ、同校「弁当の日」関係者との意見交換会を開催しました。</p> <p>6年生による弁当作りと、作った弁当を保護者と一緒に食べる様子を見学した後、同校の学校長、担当教諭、学校医、食生活改善推進員、老人クラブ、南丹市担当職員の皆様から、「弁当の日」の取り組んでよかったことや、苦労した点について話を伺いました。</p>				
					

担当または窓口	食の安心・安全推進課	施策	世代（若い世代）、ライフスタイル	目標
取組事項名	大学生を対象にした料理教室の開催			
取組の内容	<p>学生生協等と連携し、食育空白世代と言われる大学生を対象とした料理教室を開催します。</p> <p>目標：3回</p>			

取組の実績 評価A	<p>京都大学生協、大阪ガス（株）と連携し、自炊をはじめた学生を対象とした「ちゃんと食べよう～体にオイシイ料理教室～」を3回開催し、延べ70名の参加がありました。（うち16名は、連続参加者）</p> <p>学生自らが企画し、テーマに沿った食についての実体験を交えた講義や参加者にお土産の野菜を渡し、料理教室の後も自炊につながるような工夫がされました。</p> <p>第1回：テーマ「自炊への第一歩」 平成28年5月21日 第2回：テーマ「自炊上達のすすめ」 平成28年6月4日 第3回：テーマ「友と囲む幸せな食卓」 平成28年6月18日</p> <p>実績：3回</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
--------------	---

担当または窓口 食の安心・安全推進課

施策 京都ならではの

目標 11

取組事項名	京都における季節の行事食などの研修会の実施
取組の内容	食の安心・安全府民大学やきょうと食育先生の活動において、京都における季節の行事食などの研修会を実施します。
取組の実績 評価A	きょうと食いく先生により、季節の和菓子作りや郷土料理の調理体験授業を、34回実施しました。




担当または窓口 食の安心・安全推進課


施策 世代（子ども、若い世代）、家庭、京都ならではの

目標 12

取組事項名	きょうと食いく先生の養成講座と認定、派遣授業の実施
取組の内容	<p>学校等において、専門的な知識を有し農作業や調理等を指導できる人材を育成するため、養成講座を開講し、きょうと食いく先生の認定を行います。</p> <p>また、小・中学校等へ社会人講師として出前授業を行う取組を進めます。</p> <p>目標：養成講座開催 1回 きょうと食いく先生の授業数 160回</p>



<p>取組の実績 評価A</p>	<p>2月6日(月)、きょうと食いく先生やきょうと食いく先生を目指す生産者等を対象に「きょうと食いく先生養成講座」をガレリアかめおかで開催し、80名参加しました。</p> <p>武庫川女子大学文学部教育学科 講師 藤本勇二氏から、「子どもたちに伝わる食育の授業とは」、きょうと食いく先生の野木 武氏と打田学市氏から、「食育活動をしていく上で大事にしていることや思い」について講演いただき、南丹保健所から、調理実習授業での食中毒予防の方法や、適切な手洗い方法について学びました。</p> <p>また、小・中学校等へ社会人講師としての出前授業を202回開催しました。</p> <p>実績：養成講座開催 1回 きょうと食いく先生の新規認定者 35名 きょうと食いく先生の授業数 202回</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div>
----------------------	--

担当または窓口	食の安心・安全推進課	施策	世代(子ども、若い世代)、家庭	目標
取組事項名	食育シンポジウム等の開催			
取組の内容	<p>きょうと食育ネットワーク、大阪ガス(株)と共同で「みらいを育てる“食”」をテーマにシンポジウムを開催し、学校、地域、家庭での食育推進を働きかけます。</p> <p>目標：1回</p>			
取組の実績 評価A	<p>8月6日(土)京都リサーチパークにおいて約130名参加の中、育児漫画家・絵本作家の高野優氏による「つくること、食べること」のマンガを描きながらの基調講演と、睦美幼稚園副園長 青山和美氏と庖丁調整士 廣瀬康二氏を迎えて、「みらいを育てる“食”」のパネルディスカッションを実施し、幼児期の体験が重要であること等、子育て世代に学びの多いシンポジウムとなりました。</p> <p>実績：1回</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div>			

取組事項名	実践型食育講演会の開催	
取組の内容	<p>自分で作る「お弁当の日」の取組を京都府で広めていくために、「お弁当の日」の考え方や実践例等の講演を聴くとともに、参加者自身が自作のお弁当を持ち寄り「お弁当の日」を体験し、他の参加者と意見交換します。</p> <p>目標 1回</p>	
取組の実績 評価A	<p>6月19日（日）キャンパスプラザ京都で実践型食育講演会～子どもも大人も自分で作るお弁当の日～を開催しました。前半は大阪府立茨木高等学校の入交先生に、子ども達がつくるお弁当の日～「暮らし」が育てる生きる力～と題して御講演いただき、子ども達は、実体験が不足し調理ができなくても、調理実習やお弁当づくりに取り組むことで、食に関する様々なことを意識し、考える様になったというお話を伺いました。</p> <p>後半の意見交換会では、参加者自作のお弁当で昼食を取りながら、自分でお弁当を作るのは、ハードルが高いので、買ってきたお弁当でもよいことにし、なぜそれを選んだかを話題にする等すれば、参加しやすく、裾野が広がるのではという意見がありました。</p> <p>実績 1回</p>	

取組事項名	食育団体が連携した食育活動の推進	
取組の内容	<p>食育活動組織が連携して取り組まれる新たな食育の取組について、経費の一部を助成し、府内の各地域における食育の取組増加を促します。</p> <p>目標：食育のたね交付金交付団体 15 団体</p>	
取組の実績 評価B	<p>12 団体で地域の食文化や農業を伝える食育活動に支援を行いました。しかし、補助額上限額を1/2から3/4に引き上げたことで、予算額内で支援できる団体数が減少し、結果12 団体への交付にとどまりました。</p> <p>実績 12 団体</p>	

取組事項名	「たんとおあがり京都府産」施設（京都府産農産物利用推進施設）の認定	
取組の内容	<p>地元農産物の利用に意欲的な病院・福祉施設、社員食堂、大学食堂を対象に認定証の交付を行い、意欲の向上を図ります。</p> <p>目標：新規認定施設数 12 施設</p>	

取組の実績 評価A	<p>新たに13施設（病院1施設、福祉施設11、企業1施設）を認定しました。</p>  
--------------	---

担当または窓口 食の安心・安全推進課

施策 世代（高齢者）、ライフスタイル

目標 10

取組事項名	京野菜ランドによる宅配事業への支援
取組の内容	<p>直売所へ出向くのが難しい方のために、京野菜ランドが宅配事業を実施できるよう研修会を実施するなど支援します。</p> <p>目標：研修会の開催：1回</p>
取組の実績 評価A	<p>京野菜ランドや他の直売所を対象に「きょうと地産地消セミナー」を開催しました。テーマは「地域の現状に合わせた新たな販売方法の取組」とし、出張販売や宅配など新たな販売方法について講演をしていただきました。</p> <p>実績：1回</p>

担当または窓口 食の安心・安全推進課

施策 健康増進、家庭、ライフスタイル


目標 5


取組事項名	食品表示法や機能性表示食品等に関する講習会の開催
取組の内容	<p>平成32年度に完全施行される食品表示法や機能性表示食品等に関する正しい情報を提供するために、講習会等を開催します。</p> <p>目標：5回</p>
取組の実績 評価A	<p>実施：5回</p> <p>改正された食品表示についての講習の実施や、ブース出展ではクイズ形式で食品表示の解説を行いました。特にブース出展では、普段食品表示に関心の薄い方々にも興味を持って取り組んでいただくことができ、広く周知することができました。</p>

担当または窓口 食の安心・安全推進課



施策 健康増進、家庭、ライフスタイル、京都ならではの

目標 7


取組事項名	食の府民大学の講義の充実
取組の内容	<p>特に忙しい子育て世代に対して、食材を選ぶことや、調理方法の知識を簡単に入手できるように、Youtubeを活用した『5分間の講義（映像 Wikipedia）』を提供します。</p> <p>目標：6講座</p> 

取組の実績 評価A	<p>実施：14講座</p> <p>〈講座内容〉</p> <p>食選力講座 5講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「健康食品」について安全な選択をするために ・ロコモティブシンドロームを予防する食事 ・高血圧と食生活 ・基礎から学ぼう 農薬のホント ・賞味期限と消費期限 <p>調理力講座 10講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ・京のおばんざい歳時記（7講座） 4月、1月分（料理編・食文化編） ・和食のマナー（3講座） 	
--------------	---	--

担当または窓口	食の安心・安全推進課	施策	健康増進、家庭、ライフスタイル	目標
取組事項名	食の安心・安全意見交換会、フォーラムの開催			
取組の内容	<p>食の安心に関する施策や取組について、消費者及び生産者等と各広域振興局ごとに意見交換を行うとともに、消費者及び生産事業者等と協働して食の安心・安全フォーラムを開催し、食品の安全性に関する知識を啓発します。</p> <p>目標：6回</p>			
取組の実績 評価A	<p>◆食の安心・安全意見交換会の開催 5回 府内各地で、消費者と生産者との意見交換を開催しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「食品表示について～地域の加工品づくりについて～」 平成28年10月24日(月) 伊根町コミュニティセンター 11名 ○「おいしい京都丹波イチ推しの食」 平成28年11月22日(火) 京の食文化ミュージアムあじわい館60名 ○「農薬の適正使用に関する情報交換会」 平成28年12月9日(金) ホテルセントノーム 55名 ○「中丹茶の魅力と茶香服」 平成29年2月12日(日) JAにのくに茶業センター 31名 ○「農場見学・ゆず大根作り」 平成29年2月25日(土) 久御山町中央公民館 30名 <p>◆きょうと食の安心・安全フォーラムの開催 1回 きょうと信頼食品登録事業者及び京のブランド産品生産者等が製造する食品の安心・安全への取組を報告するとともに、その食品を使用した調理実演、試食をしながらの意見交換を行いました。</p> <p>日 時 平成29年2月2日(木) 場 所 京の食文化ミュージアム あじわい館 参加者 85名</p>			

取組事項名	リスクコミュニケーション等の開催
取組の内容	<p>食中毒、食品添加物、放射性物質等の食に関するリスクをテーマに、生産者、事業者、専門家などの関係者と意見交換を行い、理解を深めます。</p> <p>目標：15回</p>
取組の実績 評価A	<p>実施：15回</p> <p>国との連携や、府民の要望に応じたリスクコミュニケーションを開催しました。子どもや親子を対象としたものや、ワークショップ形式での開催など、開催方法も工夫しながら実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「塩と健康～あなたの塩分摂取は大丈夫？～」 平成28年6月24日(金) 京都テルサ 一般府民 57名 ○「食中毒について考えよう」 平成28年8月2日(火) 京都テルサ 小学生と保護者 17組26名 ○「食品添加物って？一緒に考えてみませんか」 平成28年11月16日(水) キャパスペース 京都 一般府民 63名 ○「食品中の放射性物質について」 平成29年2月21日(火) 京都府公館 一般府民 19名 <p><府民の要望に応じたリスクコミュニケーション 11回 > 主なテーマ：農薬について 鳥インフルエンザ対策 学校現場における食品衛生の注意点</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>

取組事項名	食品ロス削減府民会議の開催
取組の内容	<p>府民や食品関係事業者、行政等が一体となり、売れ残りや規格外品、食べ残しなどの理由から、食品が廃棄されてしまう「食品ロス」の削減に向けた具体的な方策を議論するため、京都府食品ロス削減府民会議を設置し、幅広く議論を実施します。</p> <p>目標：年4回</p>

取組の実績 評価A	<p>「食品ロス」の削減に向けた具体的な方策を議論するため、京都府食品ロス削減府民会議を設置し、会議を4回開催し、幅広く議論を実施しました。</p> <p>第1回（平成28年7月28日） 第2回（平成28年9月6日） 第3回（平成28年11月2日） 第4回（平成29年2月3日）</p> <p>実績：4回</p> 
--------------	---

担当または窓口	食の安心・安全推進課	施策	世代（全世代）、健康増進、家庭、ライフスタイル、京都ならではの	目標
取組事項名	食育強化月間における関係団体と連携した啓発			
取組の内容	<p>「きょうと食育ネットワーク」が「朝ごはんを食べよう」を統一テーマとして定めている「きょうと食育強化月間（11月）」において、府内各団体と連携した啓発活動を行います。</p> <p>目標：1回</p>			
取組の実績 評価A	<p>京都府農林水産フェスティバル2016（平成28年11月26日、11月27日）にて、京都府食生活改善推進員連絡協議会と連携し、食育体験コーナーを設置し、食生活相談や食育に関する展示等を行いました。</p> <p>実績：1回</p> 			

担当または窓口	食の安心・安全推進課	施策	世代（全世代）、健康増進、家庭、ライフスタイル、京都ならではの	目標	9
取組事項名	食のみらい宣言・実践活動表彰の実施				
取組の内容	<p>府民が主体的に食育活動に取り組むきっかけづくりとして、府民自らの食に関する目標（宣言）と、その結果（実践）及びその様子がわかる写真を「京都府食のみらい宣言・実践活動」として募集します。</p> <p>目標：食のみらい宣言を行い、健全な食生活をおくる府民 2,000人</p>				

取組の実績 評価A	<p>府民の主体的な食育活動の取組を推進するため、自らの食に関する目標を宣言する「食のみらい宣言」とその実践活動結果を募集しました。応募総数174点の中から「京都府食のみらい宣言・実践活動表彰」入賞宣言を決定し3月20日（月・祝）に表彰式を開催しました。</p> <p>また、京都府主催のイベント等において、多くの府民に食のみらい宣言を実施していただきました。</p> <p>実績：食のみらい宣言を行い、健全な食生活をおくる府民 2,149 名</p>
--------------	--

担当または窓口	食の安心・安全推進課	施策	世代（全世代）、健康増進、家庭、ライフスタイル、京都ならではの	目標
取組事項名	イベント等での食育の啓発			
取組の内容	<p>「きょうと食育ネットワーク」と連携しながら、食に関わるイベント等に効果的な出展を行い、府民が食育を考え、体験出来る機会とします。</p> <p>○食育取組事例等の展示・配布</p> <p>○体験型ブース出展（食生活の見直しや、食に関わるマナー等の体験機会とします。）</p> <p>○アンケート実施（府民の食育に対する意識を把握します。）</p>			
取組の実績 評価A	<p>各種イベントに出展し、パネル展示、食生活チェックコーナー設置、資料配付、アンケート等を実施しました。</p> <p><出展イベント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・SKY ふれあいフェスティバル（平成28年9月17日、18日） ・京都府農林水産フェスティバル（平成28年11月26日、27日） 			

担当または窓口	食の安心・安全推進課	施策	世代（全世代）、健康増進、家庭、ライフスタイル、京都ならではの	目標
取組事項名	きょうと食育ネットワーク団体による食育を支援する活動の登録と情報提供			
取組の内容	<p>「きょうと食育ネットワーク」を通じて、府内で行われている食育支援の活動を登録し、ホームページ等で情報提供することで、食育に取り組むにあたって必要な情報を容易に取得できるようにします。</p> <p>【食育支援の取組】</p> <p>○ボランティア活動 ○企業・工房等の見学 ○講師の派遣 ○教材等の提供</p> <p>○農林漁業体験プログラム 等</p>			
取組の実績 評価A	<p>「きょうと食育ネットワーク」において、会員団体及び「きょうとの食育」サポート企業における食育支援の活動を登録し、ネットワークのホームページに掲載することで情報提供を実施しました。</p>			

担当または窓口 食の安心・安全推進課		施策 世代（全世代）、健康増進、家庭、ライフスタイル、京都ならではの	目標
取組事項名	京都府及び関係機関の「食」に関する情報の提供		
取組の内容	<p>ホームページ・メールマガジン等で「食」に関する情報を提供します。</p> <p><きょうと食育情報> http://www.pref.kyoto.jp/shokuiku/index.html</p> <p><食の安心・安全きょうと> http://www.pref.kyoto.jp/shoku-anshin/index.html</p>		
取組の実績 評価A	<p>京都府のホームページ<きょうと食育情報>と<食の安心・安全きょうと>で京都府及び関係機関の「食」に関する情報を継続的に提供しました。</p> <p>2つのメールマガジン<きょうと食育情報>と<食の安心・安全きょうと>を週替わりで発行、食選力や調理力アップにつながる食の最新情報を提供しました。</p>		

担当または窓口 食の安心・安全推進課		施策 世代（全世代）、健康増進、家庭、ライフスタイル、京都ならではの	目標
取組事項名	きょうと食育ネットワーク団体による食育講座の情報発信		
取組の内容	「きょうと食育ネットワーク」による料理教室等の食育講座の開催を情報発信します。		
取組の実績 評価A	「きょうと食育事例集」に、きょうと食育ネットワーク団体による食育講座の情報を掲載しました。		

担当または窓口 食の安心・安全推進課		施策 世代（全世代）、健康増進、家庭、ライフスタイル、京都ならではの	目標
取組事項名	食育プラットフォーム参加者の拡大		
取組の内容	<p>食育が府民運動として取り組まれるための体制を整えるため、府内で食育に取り組む個人や団体が参加可能な食育プラットフォームの拡大を図ります。</p> <p>プラットフォームにおいては、府内外における食育の先進的な取組情報やそのノウハウの共有を行うとともに、食育に取り組む仲間や協力者を得るなど、食育に関して有益な情報交換や交流を行うための場として位置づけます。</p> <p>目標：食育プラットフォーム参加者 200名</p>		
取組の実績 評価B	<p>食育プラットフォーム参加者175名(平成29年3月末現在)</p> <p>食育プラットフォーム参加者が情報交換等を行う為の、メーリングリストやSNS等のツール作成や、食育実践者が集う府民みんなの食育大会等を開催しました。</p>		

取組事項名	学校教育活動全体を通じた食育の推進(新)
取組の内容	「食」に関する指導計画に基づき、食育に対する教職員の共通認識のもと、組織的・体系的な食育を展開することにより、子どもたちにとって望ましい食習慣づくりを推進します。 また、食育に関する教職員等の意識の向上を図り、各関連教科や特別活動等、あらゆる機会を通じた「食」に関する指導を充実します。
取組の実績 評価A	小、中、高等学校の全ての学校で食に関する指導全体計画を作成し、教職員の共通理解のもと学校全体で取組を進めています。教職員向け食育啓発リーフレットを作成配布し、積極的な実施を促しています。

取組事項名	調理実習等の充実
取組の内容	基礎的・基本的な知識と技能を身に付け、日常生活で活用できるようにします。食文化を継承しつつ、健康と安全・衛生に配慮して調理を工夫し、食事を作る楽しさや食べる喜びを味わうことができるようにします。
取組の実績 評価A	各学校で、家庭科、技術、家庭科等の授業において、栄養教諭等との連携やきょうと食いく先生等の地域の専門家等の協力を得るなど様々な工夫を凝らしながら、地域の特性を活かした調理実習等の充実を図りました。

取組事項名	地場産物を取り入れた学校給食の促進
取組の内容	学校給食への地場産物の活用とともに、郷土食、行事食などを取り入れることにより、地元産物や食文化への理解を深め、郷土への関心を高めます。
取組の実績 評価A	「食に関する指導充実事業」「食育月間」「学校給食週間」等の取組により、地場産物を活用した地域の特色を生かした学校給食週間に取り組み、その内容を研修会での実践発表やホームページ等での他校や地域、家庭へ周知し、普及を図りました。 学校給食への地場産物活用状況調査を行い、地場産物の活用の良さや効果とともに、その結果を研修会等で伝えました。 本年度は天候不順のため地元産の野菜の収穫が少ない時もあり、給食への活用の機会が減った地域もありました。

担当または窓口 保健体育課		施策 世代（子ども）	目標 1・12
取組事項名	地域の人材を活用した体験学習等の実施による生活実践力の育成（改）		
取組の内容	食の専門家である「食いく先生」や食生活改善推進員等の外部講師による指導、さらには地域の生産者等による耕作、収穫、調理等の食に関する体験学習等を取り入れながら生活実践力を育成します。		
取組の実績 評価A	各学校では、地域の生産者や関係団体等と連携し、農作物の栽培や調理実習等の体験学習を実施しています。 「食に関する指導充実事業」等において、地域の他校種の学校や関係機関と連携を図り、地域の食の専門家の協力を得た調理実習や地元の食に関する体験学習等を取り入れながら食育を推進しました。 きょうと食いく先生を活用し、食の専門家による出前授業を通して調理実習、食品加工体験、農業等に取り組みました。		

担当または窓口 教職員課		施策 世代（子ども）	目標 1
取組事項名	採用選考試験等の実施		
取組の内容	専門性を有する栄養教諭の新規採用枠を引き続き設けます。		
取組の実績 評価A	今年度、栄養教諭8名を採用し、全体で96名（京都市を除く）の配置数となりました。		

担当または窓口 保健体育課		施策 世代（子ども）	目標 1
取組事項名	教職員研修の充実		
取組の内容	初任者・新規採用者への研修を実施するとともに、教育局別研修会等を開催することによって、学校における食育を推進するための教職員の意識向上及び資質向上を図ります。		
取組の実績 評価A	初任者、新規採用者研修をはじめ、「スーパー食育スクール事業」食育研修会、京都府学校給食研究協議大会、教育局別の食育・学校給食研修会等において教職員の食育推進に対する意識が向上するように食に関する研修を実施しました。		

担当または窓口 保健体育課		施策 世代（子ども）	目標 1・3
取組事項名	学校給食を活用した食育の推進		
取組の内容	和食の保護・継承や京の食文化への理解を深めるため、地場産物や郷土食、行事食を献立に取り入れられたり、教科などに関連させた献立の工夫を図るなど、学校給食を生きた教材として活用した食育の取組を推進します。		

取組の実績 評価A	<p>学校給食実施校では、学校給食を生きた教材として活用し、食に関する指導を実施しています。</p> <p>「和食の日（11月24日（いい日本食）」を中心とした11月に学校給食に、だしの味のきいた和食献立を提供する取組を推奨しました。</p> <p>「スーパー食育スクール事業」「食に関する指導充実事業」の指定校では、学校給食を活用した食育を推進するとともに、その成果を研修会での実践発表や研究冊子の配布などにより、府内への普及を図りました。</p>
--------------	---



担当または窓口	健康対策課	施策	世代（壮年期）、健康増進	目標	6
取組事項名	「きょうと健康おもてなし食の健康づくり応援店」の増加				
取組の内容	<p>①野菜たっぷりメニュー、②塩分控えめメニュー又は③アレルギー表示のいずれかを実施している店舗を「きょうと健康おもてなし食の健康づくり応援店」として認定し、健康に配慮した店舗を増やします。</p> <p>目標：800店舗の登録</p>				
取組の実績 評価A	現在、754店舗（H28年12月末現在）。うち、313店は旧制度（H29まで存置）の食情報提供店のみの加入であり、引き続き新制度への移行を働きかけます。				

担当または窓口	健康対策課	施策	健康増進、京都ならではの	目標	13
取組事項名	「健康ばんざい京のおばんざい弁当」の販売数				
取組の内容	<p>「栄養」や「京らしさ」の一定の基準を満たした「健康ばんざい京のおばんざい弁当」を認定し、普及・販売促進に努めます。</p> <p>目標：年15,000個の販売</p>				
取組の実績 評価A	年15,004個（2月末現在）の販売実績がありました。認定した弁当は35種類で、新規加入業者が1社ありました。				

担当または窓口	山城北保健所	施策	世代（若い世代、壮年期）、健康増進	目標	
取組事項名	働き盛り世代の生活習慣病予防を目的とした啓発				
取組の内容	管内商工会議所等と連携し、健診時等において、望ましい食生活に関する情報提供や体験等の機会を設け、働き盛り世代等への食生活改善に向けた啓発に努めます。				
取組の実績 評価A	<p>○城陽商工会議所と連携し、働き盛り世代の食生活改善に向け、肥満予防等についてパネルや媒体展示を行いました。（1回）</p> <p>○社員食堂を持つ事業所と連携し、従業員の食及び健康に関する意識向上を図るため、テーブルPOPの設置による健康・栄養情報の提供啓発や健康フェアの開催を実施しました。（2事業所に対し6月～3月にかけて継続的に実施しました。）</p>				

担当または窓口 山城北保健所		施策 世代（全世代）、健康増進、家庭	目標
取組事項名	健康づくりイベントでの食育啓発活動		
取組の内容	管内各市町等と連携した健康づくりイベントにおいて、望ましい食生活に関する情報提供や体験等の機会を設け、食育の啓発に努めます。		
取組の実績 評価A	健康づくりイベントにおいて食育コーナーを設け、野菜摂取向上等をテーマに野菜クイズ、パネル、媒体の展示を行いました。（1回）		

担当または窓口 山城南保健所		施策 健康増進、家庭	目標
取組事項名	家庭における食育推進をねらいとした啓発		
取組の内容	各種イベント等において、野菜の摂取やバランスのよい食べ方等、正しい食生活の知識に関する情報提供等を行い、食育の啓発に努めます。		
取組の実績 評価A	○救急フェア（平成28年9月9日）の健康相談コーナーにおいて、野菜の摂取をテーマにパネルや媒体を展示し、来場者に正しい知識や食べ方のコツ等の説明を行いました。（参加者数 41名）		

担当または窓口 山城広域振興局農林商工部		施策 京都ならではの	目標
取組事項名	山城マルシェの開催		
取組の内容	山城地域の食の魅力発信と地産地消の推進を目的に山城マルシェを開催します。 目標：2回（けいはんなプラザ、主要駅や市役所前広場など）		
取組の実績 評価A	<p>やましる産ごちそうさんプラットホーム実践のひとつとして、山城マルシェを3回開催しました。山城産農産物や手づくり加工品の販売、模擬店を実施。若手生産者は、チームを組んで販売するなど、出展者同士の交流も図られました。</p> <p>木津高校生による美味しいお茶の入れ方講習会もあり、来場者に人気でした。</p> <p>駅マルシェや市役所マルシェは普段なかなか山城産に出会えない人達に山城産を知って購入いただく機会となりました。</p> <p>① 山城マルシェ in けいはんな 9月17日 10:00～15:30 出展23団体 来場者約1500名</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>		







- ② 山城マルシェ in JR 宇治駅 11月2日 16:00~19:00
 普段なかなか山城産を知ったり買ったりできない仕事帰りの皆さんや観光客に、山城産を販売しました。
 出展8団体



- ③ 山城マルシェ in 宇治市役所 2月3日 11:30~14:00
 来庁者や昼休みの市役所職員に山城産を販売
 出展13団体



担当または窓口 山城広域振興局農林商工部	施策 世代（全世代）、健康増進、京都ならではの	目標
取組事項名	山城産をおいしく食べられる食堂の登録開始	
取組の内容	<p>山城産食材を食べて楽しめる飲食店等を登録し、健康な食生活の実現、山城産の利用推進を目指します。</p> <p>目標：50店舗</p>	
取組の実績 評価A	<p>やましろ産ごちそうさんプラットフォームに参画する飲食店や生産者、関係者により登録要領を検討しました。</p> <p>「京やましろ食～京やましろ産食材提供店～」として61店舗を登録しました。</p> <p>登録証交付式 3月3日（金）13：30～16：00 プラットフォーム平成28年活動報告会と同時に開催しました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div>	

担当または窓口 山城広域振興局農林商工部	施策 家庭	目標
取組事項名	キッチンカーによる野菜畑等での料理講習会の開催	
取組の内容	<p>山城地域の食や農にふれ、食べ物への感謝の心を育む実践型食育を通じて、家族全員が調理力を学ぶ機会を提供します</p> <p>目標：4回</p>	
取組の実績 評価A	<p>山城産の旬の農産物を収穫体験したその場にキッチンカーを持ち込み、おいしさを体感する「やましろキッチン」を実施しました。</p> <p>プラットフォームメンバーとの協働実施 4回</p> <p>① 4月 竹の子（八幡市） 参加 35名</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">     </div>	

② 7月 京田辺なす・宇治茶（京田辺市）
参加 24名



③ 10月 椎茸・茶歌舞伎（宇治田原町）
参加 44名



④ 10月 キッズ食育スクール親子でめざせ野菜王（府南部総合地方卸売市場）
特産クイズ（宇治青年会議所）と九条ねぎのクッキング
参加 親子150名






担当または窓口 山城広域振興局農林商工部




施策 世代（若い世代、壮年期、高齢者）、ライフスタイル


目標

取組事項名	山城の農業や食の魅力を伝える山城産品インターネット販売の開始
取組の内容	山城地域の「食」や特産物を作る農業者を紹介し、山城産品をいつでも購入できるインターネット販売サイトをやましろ産ごちそうさんプラットフォームメンバーにより立ち上げることで、山城産を広くアピールするとともに、山城産の利用拡大を目指します。

取組の実績 評価A	<p>プラットフォームメンバーによる「山城ごはん実行委員会」を立ち上げ、山城産の紹介サイトと販売サイトを整備しました。</p> <p>山城ごはん サイト http://yamashiro-gohan.com/（運用開始は5月の予定）</p>
--------------	---

担当または窓口	山城教育局	施策	世代（子ども）	目標
取組事項名	山城地方食育・学校給食研究協議会の開催			
取組の内容	<p>山城管内の学校、学校給食共同調理場及び市町（広域連合）教育委員会の教職員・調理員等学校給食関係者が食に関する指導についての理解を深め、学校教育活動全体を通じた食育の推進を図るとともに、学校給食の管理及び運営並びに食に関する指導について研究協議し、学校給食の安全性の確保と健康教育に関する指導のより一層の充実を図ります。</p> <p>○平成28年7月22日（金）開催</p>			
取組の実績 評価A	<p>平成28年7月22日（金）宇治市生涯学習センターにおいて開催 244名参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講演 「家庭や地域との連携による食育の推進」 上越教育大学大学院教育研究科 教授 野口孝則 氏 ・実践発表 「食を通してはぐくむ豊かな心と健やかな体」 宇治市学校給食研究会研究部・木幡小学校・大開小学校 <p>食に関する指導において、学校給食の果たす役割を改めて認識するとともに、学校教育活動全体を通じた食育を推進していくことの重要性を確認することができた。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  </div> </div>			

<p>取組事項名</p>	<p>直売所等を巡るクイズラリーの実施(ぐるっと京都丹波ファーマーズマーケットラリー)</p>
<p>取組の内容</p>	<p>京都丹波の食の魅力を広く発信し、農産物等の売上げ拡大や生産者の所得増加を目指し、8月1日～10月31日までクイズラリーを実施。 今年度は、クックパッド京都府公式キッチンに直売所や農家イチ押しレシピを掲載し、地元産農産物を使った地元農家ならではの料理レシピを手に入れ、野菜などの新たな調理方法、おいしい食べ方を知るなど、京都丹波の魅力を直接感じてもらうことにより、京都丹波ファンを増やす取組として実施します。</p>
<p>取組の実績 評価A</p>	<p>南丹管内の農産物直売所20か所において、平成28年8月1日～10月31日の期間中、「ぐるっと京都丹波ファーマーズマーケットラリー」を実施。 クックパッド京都府公式キッチンに掲載した「京都丹波イチ推しの食100選」のレシピを店舗に掲示する等を行い、各店舗の農産物等の売上げ拡大、生産者のモチベーションアップ等につなげました。 消費者からは「野菜嫌いの子どもがこのレシピでは食べてくれた。」 「直売所にはたくさん野菜が並び、楽しい。」等のコメントが寄せられました。 ■応募口数：328口 ■クックパッドレシピ掲載数：100種類 ■つくれぼ数：104通</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">    </div>

<p>取組事項名</p>	<p>意見交換会の開催～おいしい京都丹波イチ押しレシピ&トーク～</p>
<p>取組の内容</p>	<p>管内農産物直売所や農家が考案した京都丹波ならではのオリジナルレシピを『「京都丹波」イチ推しの食100選』として、クックパッド京都府公式キッチンに掲載中。その中から商品化可能なレシピについてシェーアール西日本ホテルグループ総料理長(ホテルグランヴィア京都)と共同開発、商品化を予定。 農産物直売所や地元産食材を通じて、京都丹波の食の魅力を知ってもらうことにより、京都丹波のファンを拡大する取組として、お披露目試食会とパネルディスカッションを一般消費者、生産者を対象に11月末、実施します。</p>
<p>取組の実績 評価A</p>	<p>■京都丹波イチ推しの食 日 時：平成28年11月22日(火) 場 所：京の食文化ミュージアムあじわい館 内 容：『「京都丹波」イチ推しの食100選』をもとに、ワンランク上の『「京都丹波」イチ推しの食』料理メニューをホテルグランヴィア統括総料理長と共同開発。商品化をした8品+1(森の京都丼)をマスコミ関係者中心にお披露目しました。 参加者：60名 効 果：①魅力ある京都丹波の「食」をメディア等活用し広く発信できました。 ②地域の方々が主役となり、京都丹波地域の魅力に再度気づくとともに、自信を深めるきっかけとなりました。</p> <div style="text-align: right;">  </div>

【『京都丹波』イチ推しの食料理メニュー8選+1】



施設名	商品名
1. ファーマーズマーケット たわわ朝霧	①丹波大納言ミニクロワッサン食パン ②亀岡牛を味わいつくす3色パン
2. 道の駅 京都新光悦村	①京都丹波お巻き ②京都丹波鶏お巻き
3. 道の駅 スプリングス ひよし	①壬生菜屯所鍋 ②森の京都丼
4. 道の駅 和	①焼鮎寿司 ②京丹波ぱふえ
5. 京都トレーニング センター	京丹波ポーク森のソース






試食会当日の様子



京都丹波イチ推しの食共同開発メニュー

取組事項名	「京都丹波豆 ONE グランプリ 2016」の開催																			
取組の内容	京都丹波（亀岡市・南丹市・京丹波町）産豆の魅力を、特に次世代を担う方たちを中心として多くの方に知ってもらうために、京都府内の中学生以上の学生を対象とした豆スイーツレシピコンテストを実施します。																			
取組の実績 評価A	<p>京都丹波地域の中学生・高校生を中心に、合計34点の応募があり、一次審査・二次（最終）審査を経て、最優秀賞1点・優秀賞5点・審査員特別賞2点（優秀賞との重複受賞）を選出しました。最優秀賞については、京都学園大学の学食「ゆう愛」で商品化（期間限定）されています。</p> <p>【審査スケジュール及び審査内容】</p> <p>(1) 募集期間 平成28年6月22日（水）～平成28年8月31日（水）</p> <p>(2) 一次審査会（書類審査） 平成28年9月13日（火）、京都府南丹広域振興局亀岡総合庁舎にて開催 総応募34点から、7点を選出</p> <p>(3) 二次（最終）審査会（実食審査、人気投票） 平成28年10月16日（日）、ガレリアかめおか（「京都丹波・森の京都フェスティバル」内）にて開催 一次審査通過の7点から、二次審査辞退の1点を除く6作品について、実食審査および「京都丹波・森の京都フェスティバル」への来場者からの人気投票により、それぞれ賞付けをしました。</p> <p>【審査結果詳細】</p> <table border="1" data-bbox="416 1200 1439 1727"> <thead> <tr> <th></th> <th>作 品 名</th> <th>氏 名（所属）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>最優秀賞 （1作品）</td> <td>黒まめまめゼリー</td> <td>米田 亜希子、磯谷 恵 （京都学園大学）</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">優秀賞 （5作品）</td> <td>黒豆のヘルシーティラミス</td> <td>栗田 夏実 （園部高校附属中学校）</td> </tr> <tr> <td>小豆入りゼラチンプリン</td> <td>湯浅 千夏 （北桑田高校美山分校）</td> </tr> <tr> <td>紫ずきんのクッキー</td> <td>山縣 里奈 （北桑田高校美山分校）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">う ち 審 査 員 特 別 賞 （2 作 品）</td> <td>ほっこり。黒大豆とバターナッツ カボチャのパウンドケーキ</td> <td>大畑 真依子 （京都府立大学）</td> </tr> <tr> <td>かやぶき豆チップクッキー</td> <td>萩田 和樹 （北桑田高校美山分校）</td> </tr> </tbody> </table>			作 品 名	氏 名（所属）	最優秀賞 （1作品）	黒まめまめゼリー	米田 亜希子、磯谷 恵 （京都学園大学）	優秀賞 （5作品）	黒豆のヘルシーティラミス	栗田 夏実 （園部高校附属中学校）	小豆入りゼラチンプリン	湯浅 千夏 （北桑田高校美山分校）	紫ずきんのクッキー	山縣 里奈 （北桑田高校美山分校）	う ち 審 査 員 特 別 賞 （2 作 品）	ほっこり。黒大豆とバターナッツ カボチャのパウンドケーキ	大畑 真依子 （京都府立大学）	かやぶき豆チップクッキー	萩田 和樹 （北桑田高校美山分校）
	作 品 名	氏 名（所属）																		
最優秀賞 （1作品）	黒まめまめゼリー	米田 亜希子、磯谷 恵 （京都学園大学）																		
優秀賞 （5作品）	黒豆のヘルシーティラミス	栗田 夏実 （園部高校附属中学校）																		
	小豆入りゼラチンプリン	湯浅 千夏 （北桑田高校美山分校）																		
	紫ずきんのクッキー	山縣 里奈 （北桑田高校美山分校）																		
う ち 審 査 員 特 別 賞 （2 作 品）	ほっこり。黒大豆とバターナッツ カボチャのパウンドケーキ	大畑 真依子 （京都府立大学）																		
	かやぶき豆チップクッキー	萩田 和樹 （北桑田高校美山分校）																		
																				
		<p>左：最優秀賞「黒まめまめゼリー」</p> <p>右：最優秀賞表彰の様子</p>																		

取組事項名	京都丹波産豆を使った新しい給食献立を提供																												
取組の内容	子どもたちに京都丹波産の豆に親しみ、そのおいしさを知ってもらうための取組として、管内の栄養職員・栄養教諭や『「京都丹波」豆ONEの会』と協力して、管内の学校で地場産豆を使った新しい給食献立を提供します。																												
取組の実績 評価A	<p>①ダブルビーンズバーグ（大豆と小豆入りのハンバーグ）、②大豆のカレースープのいずれかが、南丹管内の全ての給食センター・共同調理場から管内の各校に新たに提供されました。いずれも、これまでの献立にはなかったものです。また併せて、資料配付などにより、京都丹波産豆のPRを行いました。</p> <p>児童・生徒の皆さんからは、「豆がとってもおいしかった。豆が嫌いだったけど、大好きになった。」「いつもよりおいしくお豆が食べられてうれしかったです。」「色々豆のことが知れてうれしかったです。」といった感想が寄せられるなど、好評の様子でした。</p> <p>【献立提供状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>調理場名</th> <th>献立</th> <th>実施月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>京丹波町立 瑞穂学校給食センター</td> <td>ダブルビーンズバーグ</td> <td>2016年10月</td> </tr> <tr> <td>南丹市立 園部学校給食共同調理場</td> <td>大豆たっぷりカレースープ</td> <td>2016年11月</td> </tr> <tr> <td>京丹波町立 丹波学校給食センター</td> <td>ダブルビーンズバーグ</td> <td>2016年11月</td> </tr> <tr> <td>京丹波町立 和知学校給食センター</td> <td>ダブルビーンズバーグ</td> <td>2016年12月</td> </tr> <tr> <td>南丹市立 美山学校給食共同調理場</td> <td>大豆たっぷりカレースープ</td> <td>2016年12月</td> </tr> <tr> <td>南丹市立 八木学校給食共同調理場</td> <td>大豆たっぷりカレースープ</td> <td>2017年1月</td> </tr> <tr> <td>南丹市立 日吉学校給食共同調理場</td> <td>ダブルビーンズバーグ</td> <td>2017年1月</td> </tr> <tr> <td>亀岡市立 学校給食センター</td> <td>大豆たっぷりカレースープ</td> <td>2017年2月</td> </tr> </tbody> </table>		調理場名	献立	実施月	京丹波町立 瑞穂学校給食センター	ダブルビーンズバーグ	2016年10月	南丹市立 園部学校給食共同調理場	大豆たっぷりカレースープ	2016年11月	京丹波町立 丹波学校給食センター	ダブルビーンズバーグ	2016年11月	京丹波町立 和知学校給食センター	ダブルビーンズバーグ	2016年12月	南丹市立 美山学校給食共同調理場	大豆たっぷりカレースープ	2016年12月	南丹市立 八木学校給食共同調理場	大豆たっぷりカレースープ	2017年1月	南丹市立 日吉学校給食共同調理場	ダブルビーンズバーグ	2017年1月	亀岡市立 学校給食センター	大豆たっぷりカレースープ	2017年2月
調理場名	献立	実施月																											
京丹波町立 瑞穂学校給食センター	ダブルビーンズバーグ	2016年10月																											
南丹市立 園部学校給食共同調理場	大豆たっぷりカレースープ	2016年11月																											
京丹波町立 丹波学校給食センター	ダブルビーンズバーグ	2016年11月																											
京丹波町立 和知学校給食センター	ダブルビーンズバーグ	2016年12月																											
南丹市立 美山学校給食共同調理場	大豆たっぷりカレースープ	2016年12月																											
南丹市立 八木学校給食共同調理場	大豆たっぷりカレースープ	2017年1月																											
南丹市立 日吉学校給食共同調理場	ダブルビーンズバーグ	2017年1月																											
亀岡市立 学校給食センター	大豆たっぷりカレースープ	2017年2月																											
	 	<p>左：ダブルビーンズバーグ 右：大豆たっぷり カレースープ</p>																											

取組事項名	おいしい食の応援隊（農作業ボランティア）の開催	
取組の内容	ボランティアが農家と一緒に農作業に汗を流すことで、農山村の活性化や地産地消を推進し、また、農家等地域との交流により、地域の食材に対する正しい知識や食事の大切さの認識を深めることに寄与します。	
取組の実績 評価A	<p>京都丹波の7地区で農作業応援を45回開催し、延べ467名のボランティアが生産者とともに農作業に参加しました。</p> <p>また、地域との交流を深め、地域の活性化や地産地消に寄与しました。</p>	

取組事項名	小学生椎茸菌打ち体験	
取組の内容	<p>地域の山から切り出した原木を用いて菌打ち体験を実施します。</p> <p>食と健康、地域の自然・森林環境についての認識を深めます。</p> <p>平成29年2月頃 5年生対象</p>	
取組の実績 評価A	<p>平成29年2月7日 八木西小学校5年生 25名</p> <p>卒業時にほだ木2本ずつを持ち帰ることになっています。</p>	

取組事項名	栽培から加工、調理まで行う食育（農業改良普及センター）	
取組の内容	<p>地元小学校が農産加工グループ、食いく先生、当普及センターが協力して、</p> <p>①小学校児童に大豆栽培から味噌作りや、味噌汁調理までの食育を行います。普及センターは大豆栽培指導の支援や、味噌汁の具用野菜の栽培方法の指導を分担します。 対象：川東学園</p> <p>②小学校児童に黒大豆（枝豆）、壬生菜の栽培、収穫までの食育を行います。普及センターは栽培方法の指導を支援します。 対象：殿田小学校</p>	
取組の実績 評価A	<p>地元小学校の児童と対象に農産加工グループ（対象①のみ）、食いく先生、当普及センターが協力して食育活動を行いました。</p> <p>対象①：亀岡市立川東学園</p> <p>①事前学習で担任指導により大豆に関する授業を行い、学校菜園で大豆の栽培体験をしました。</p> <p>②馬路農産加工グループ（人見博子食いく先生）が5年生児童に馬路町産の大豆を使った味噌作りや、味噌汁調理までの食育を行いました。普及センターは大豆栽培指導の支援を分担しました。質問では「味噌に使う大豆の品種は何ですか」「美味しい味噌づくりのコツは何ですか」等、味噌づくりに興味を示すものでした。</p>	



食いく先生が味噌作りを説明



塩糍と混ぜる



味噌をパック詰め



味噌汁を調理して頂く

対象② 南丹市立殿田小学校

①食いく先生吉田陽子氏の指導の下、小学校5年生児童21名に黒大豆(枝豆)、壬生菜の栽培、収穫、販売(黒大豆枝豆)までの食育活動を行いました。

生徒からは「収穫作業の大変さがよくわかり、農家の人はすごいと思った」「販売するのが楽しい」等の声が聞かれました。普及センターは栽培方法の指導を支援しました。



食いく先生が作業について説明






枝豆の莢を取り、選別



食いく先生が壬生菜の収穫・調整方法を説明






担当または窓口 南丹地域食の安心・安全プロジェクトチーム		施策 京都ならではの	目標 5
取組事項名	食の生産現場における安全対策を学ぶフィールドワークの実施		
取組の内容	南丹広域振興局の各部局職員を対象に、臨場感を持った食の安全対策の共通認識を深めるためのフィールドワークを実施予定です。		
取組の実績評価A	平成28年5月19日(木)南丹地域食の安心・安全プロジェクトチーム会議を開催。各所属(総務・農林・保健・教育部局)から、食の安心・安全に関する業務についての報告と参集者での意見交換を行いました。この会議を通して情報交換を行うことにより、所属を超えての連携が可能となっています。		


担当または窓口 南丹保健所		施策 世代(若い世代)、健康増進	目標 9
取組事項名	大学等を会場とした食育キャンペーンの開催(保健室)		
取組の内容	野菜摂取量の向上をめざした食育キャンペーンを、野菜摂取量が落ち込む若い世代(大学生)を対象に実施します。 目標：年1回 参加者200名		
取組の実績評価A	<ul style="list-style-type: none"> ・12月8日(木)に京都学園大学食堂にて、12月16日(金)に明治国際医療大学食堂にて、食育キャンペーンを開催しました。 ・当日、学生が選んだ昼食の野菜量をチェックしたり、野菜1日分クイズ&アンケートを行い、野菜摂取量向上への意欲を高めました。参加者は2校で計367名と多くの野菜摂取量が落ち込む世代への働きかけが出来ました。 ・きょうと健康長寿推進京都丹波地域府民会議食環境部会として開催し、多くの部会構成員の協力のもと実施することが出来ました。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div>		

担当または窓口 南丹保健所		施策 世代(壮年期)、健康増進	目標 9
取組事項名	働きざかり世代への企業食堂を通じた健康づくり「けんこう食堂化プロジェクト」(保健室)		
取組の内容	働き盛り層の「肥満者の増加」や「野菜摂取量の不足」など食に関する課題解決に向けて、企業・大学と保健所が協働で健康講座や食堂の環境整備を図ることで、健康的な食行動が実践できる等食を通じた健康づくりを進めるとともに、農林商工部との連携により地元産野菜の販路拡大も進めます。 目標：1ヶ所以上		

取組の実績 評価A	<ul style="list-style-type: none"> ・亀岡市商工会議所主催の健康診断開催時に、健診を受診した働き盛り層に対し、食に関する啓発・展示・相談を3回実施しました。 ・社員食堂を持つ事業所等1カ所に対し、働き盛りの健康づくりをめざした「けんこう食堂化事業」を実施しました。
--------------	---

担当または窓口	南丹保健所	施策	健康増進、家庭	目標	9
取組事項名	「なんたん・かんたん・やさしい料理」レシピカードを活用した野菜摂取量向上の取り組み（保健室）				
取組の内容	<p>京都丹波地域府民会議食環境部会で27年度に編集した「野菜レシピカード」を農作物直売所・一般飲食店・食環境部会構成団体を通じて広く配布します。</p> <p>目標：直売所及び飲食店 年3回 配布枚数：計20,000枚</p>				
取組の実績 評価A	<ul style="list-style-type: none"> ・亀岡市、南丹市、京丹波町内で開設されている下記施設のうち希望された61カ所（常設野菜直売所36カ所、加工研究会代表等6カ所、一般飲食店（食情報提供店）19カ所）へ4月、8月、12月の3回配布を行いました。 ・食環境部会構成団体（14団体）が主体的にレシピを活用し、野菜摂取量の向上を図りました。 ・回数：直売所等3回、構成団体14回以上 配布枚数：26,000枚 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">    </div>				

担当または窓口	南丹保健所	施策	世代（全世代）、健康増進、家庭	目標	9
取組事項名	きょうと健康長寿推進京都丹波地域府民会議食環境部会の開催（保健室）				
取組の内容	<p>南丹地域の食による健康長寿をめざすことを目的に、ボランティア団体、栄養士の団体、保育、教育、農林、市町行政等を構成団体とした食環境部会を開催し、課題検討や情報交換を通じて地域における食育の推進を図ります。</p> <p>目標：年2回</p>				
取組の実績 評価A	<p>構成団体（14団体）の出席を得て、6月に第1回を2月に第2回を開催しました。</p> <p>取り組みの共有や課題の検討を通して、保健、保育、教育、ボランティア団体、農林部局と各所属を越えた連携に繋がることができています。</p>				

取組事項名	南丹地区食育・学校給食研究協議会の開催
取組の内容	<p>南丹管内の幼・小・中・府立学校・学校給食センター・市町教育委員会等の教職員及び調理員が食に関する指導や管理運営に係る実践交流等を行い、安心・安全で、かつ生涯にわたる健康づくりの基盤となる学校給食の充実と、家庭・地域等と連携した学校教育活動全体を通じた食育の推進を図ります。</p> <p>目標：1回</p>
取組の実績 評価A	<p>平成28年7月27日(水)南丹市日吉町生涯学習センター「遊 you ひよし」において開催。121名が参加。実践発表と講演を実施。</p> <p>実践発表では、発表校で取り組んでいる衛生管理・食育についてそれぞれ報告があり、参加した方が現場に持ち帰って実践できる内容でした。</p> <p>講演では、京都府立大学大学院教授の東 あかね氏から「適塩和食のすすめ～京丹波町塩分調査の結果より～」と題した内容で、バランスが良いものの塩分摂取量が高くなりがちな和食を適塩で食べるための工夫等について紹介頂き、あらゆる世代の食生活・健康増進について示唆に富んだ直ぐにでも実践できる学びの多い内容でした。</p> <p>実績：1回</p> <p>協議会の様子→</p> 


取組事項名	食育に関する講演の実施(みんなでコラボ in 中丹)
取組の内容	<p>PTA 指導者研修会(みんなでコラボ in 中丹)において、『「和食料理人が行う食育」～今、保護者に伝えたいこと～』と題した講演を実施します。</p> <p>各校のPTA 役員等が一同に集う機会を活かし、和食に関する理解を深めると共に、プロの料理人が行う食育の取組について講演いただくことで、家庭での食育に関する取組の推進に向けて実施します。</p> <p>目標：1回</p>
取組の実績 評価A	<p>6月25日(土)に綾部市市民センター及び京都府総合教育センター北部研修所を会場に350名が参加し、特定非営利活動法人日本料理アカデミー 地域食育委員会委員長 園部 晋吾氏に和食の意味やその素晴らしさ、子ども達にとっての食育の重要性などを分かりやすく御講演いただきました。</p> <p>参加者には食を通して感謝の気持ちを持つことの大切さや、本当においしいと実感できる食を準備することが子ども達の感受性を豊かにする等を理解する良い機会となりました。</p> <p>実施：1回</p>


取組事項名	中丹地区食育・学校給食研究大会の開催
取組の内容	<p>中丹地区の学校給食の充実や安全な学校給食の実施に向けて、栄養教諭や学校給食の調理従事者等の研修を実施します。</p> <p>各校において取り組む食に関する指導への理解を深めると共に、今年度については「歯から見た食育」をテーマに、調理の方法によって変化する咀嚼や口の筋力との関係性から食育推進の重要性を学びます。</p> <p>目標：1回</p>
取組の実績 評価A	<p>7月28日(木)に綾部市中央公民館を会場に117名が参加し、フリーランス歯科衛生士 和田 美登里氏に「食・歯・命」～歯から見た食育～と題し、歯科衛生士の視点からみる食育について御講演いただきました。食材の選択や調理の際の切り方、熱の加え方による食べ物の硬さの工夫を行うことで、子ども達の噛む回数が増える等これまでにない考察を聴くことで、参加者の今後の指導や調理への意識向上に繋がりました。</p> <p>実施：1回</p>


取組事項名	学校給食における地元産食材の利用と食育の推進
取組の内容	<p>学校給食への地元産食材の積極的な利用を働きかけるとともに、地域の農業・地域の農産物を通じて郷土を愛する心を育むため、小学校での食育授業を市町村と連携して実施します。</p>
取組の実績 評価A	<p>9月16日(金)中舞鶴小学校において、3年生44名(2クラス)を対象に農業改良普及センター職員が講師となり、万願寺甘とう出前授業を行いました。</p> <p>授業では、万願寺甘とうが舞鶴市の特産物となった歴史や販売・生産状況、果実の特徴について説明をしました。また、当日の学校給食には、万願寺甘とうを使った献立が登場し、料理を味わう体験も同時に行うことで、より一層、万願寺甘とうに親しみを持つことができました。</p> <p>前年度まではどこの学校でも府職員が講師を務めていましたが、今年度からは基本的に地域農業者に講師を市から依頼していただく体制をとったため、府職員の講師活動は1回にとどまりました。</p> <p>実績：1回</p>

担当または窓口	丹後広域振興局農林商工部	施策	世代（子ども）	目標
取組事項名	小学校の食育活動に対する支援			
取組の内容	<p>小学校が取り組む農作業体験活動を支援します。</p> <p>※参考</p> <p>5/16 大宮第一小学校 田植え 6/14 宮津小学校 大豆の話と種まき作業 7/14 宮津小学校 大豆の管理作業 9月 大宮第一小学校 稲刈り 9/28 大宮南小学校 丹後の農業について講義</p>			
取組の実績 評価A	<p>小学校が取り組む農作業体験学習を地元農業者と連携して支援するとともに、地域の農業に関する学習を支援しました。</p> <p>5/16 大宮第一小学校 田植え 6/14 宮津小学校 大豆の話と種まき作業 9/28 大宮南小学校 丹後の農業について講義</p>			

担当または窓口	丹後保健所	施策	世代（子ども、若い世代）	目標
取組事項名	食育フォーラムの開催			
取組の内容	<p>農林、教育をはじめ様々な食育に関する機関と連携しながら、丹後地域の食育活動を共有し、ネットワークづくりをすすめることを目的とし、講演会等を開催します。</p> <p>目標：年1回</p>			
取組の実績 評価B	大雪のため中止しました。			

担当または窓口	丹後保健所	施策	健康増進	目標
取組事項名	イベントでの食育体験コーナー等の設置			
取組の内容	<p>丹後農業研究所施設公開デーや丹後はぐくみフェスティバルをはじめ、多数の府民が集まる会場にて、栄養士や保健師が「健康づくり」の推進を目的に、食についての相談や食塩測定等の体験コーナーを設置します。</p> <p>目標：年2回</p>			
取組の実績 評価A	<p>6月8日(水)の労働安全衛生大会(約135名)では働きざかり世代、6月26日(日)の府民公開講座(約50名)、8月23日(火)の丹後農業研究所施設公開デー(約140名)では全世代を対象に、食についての相談や食塩測定等の体験ができるコーナーを設置したことにより、参加者にとって、自身の適切な食事についての学びの場となりました。</p> <p>実績：3回</p>			


担当または窓口 丹後保健所		施策 健康増進	目標
取組事項名	食育月間の取組		
取組の内容	食育月間である6月に、府民ホールにて食に関する展示を実施し、正しい情報を提供します。		
取組の実績 評価A	食育月間である6月の16日～30日まで府民ホールにて、1日の適切な食事についてのフードモデルを展示し、職員や来局された府民に対し、正しい食習慣について情報提供することが出来ました。		

担当または窓口 丹後教育局		施策 世代（子ども）	目標
取組事項名	丹後食育・学校給食研修会の開催		
取組の内容	丹後管内の学校・学校給食センター・市町（組合）教育委員会の教職員・調理従事員・関係職員を受講対象者とし、管内における取組報告や研究協議を行うことにより、食に関する指導についての理解を深め、食に関する指導計画に基づいた学校教育活動全体を通じた食育の推進を図ります。		
取組の実績 評価A	<p>丹後食育・学校給食研修会を実施しました。</p> <p>日時：平成28年7月26日（火） 午後1時30分から同4時30分 参加者数：125名</p> <p>内容：・課題提起「学校給食における食物アレルギー対応について」 京都府丹後教育局 白岩恵美子 指導主事</p> <p>・実践発表「伝われ地域の良さ～給食を生きた教材につなげて～」 伊根町立伊根小学校 大原由紀子 栄養教諭</p> <p>・講演Ⅰ 「安全・安心な学校給食の提供と衛生管理の在り方」 京丹後市立峰山小学校 杉本佐代子 栄養教諭</p> <p>・講演Ⅱ 「学校における食育の推進と危機管理について」 京都府教育庁指導部保健体育課 後藤純子 指導主事</p> <p>主催：京都府教育委員会・京都府学校給食研究会 主管：京都府丹後教育局・与謝地方学校給食研究会 京丹後市学校給食研究会 後援：丹後地方教育委員会連合会・公益財団法人京都府学校給食会</p>		

担当または窓口 乙訓保健所、乙訓教育局、京都乙訓
農業改良普及センター

施策 世代(壮年期)

目標

取組事項名	特定給食施設である事業所における食習慣の改善に向けた取組
取組の内容	<p>特定給食施設である事業所と連携し、主に働き盛り層の男性従業員を対象に、健康課題の改善のため食習慣の改善に重点を置き、京都府産野菜を使用した昼食を介し、野菜摂取量増加の啓発活動に努めます。</p> <p>目標：1回</p>
取組の実績 評価A	<p>8月4日(木)、ニチユ三菱フォークリフト京都工場(長岡京市)において開催。工場内の食堂で「野菜たっぷり定食DAY」と銘打って地元産などを使った野菜たっぷり定食4種類を提供し、利用者約500名に食生活改善に関心を持ってもらうための取組みを行いました。併せて啓発資材を配布し、野菜摂取キャンペーン活動を行いました。</p> <p>実績：1回</p> 

担当または窓口 乙訓教育局

施策 世代(子ども)

目標

取組事項名	乙訓学校給食研究大会の開催
取組の内容	<p>乙訓管内の学校給食実施校及び各市町教育委員会の学校給食関係者を対象として、乙訓学校給食研究会と連携し、学校給食における管理運営・栄養管理や調理・食に関する指導についての諸問題を研究協議し、学校給食の安全性の確保を図るとともに、健康教育の一環としての学校給食のより一層の充実と食育の推進を図るため、研修会を実施します。</p> <p>○平成28年7月28日(木) 向日市立向陽小学校</p>
取組の実績 評価A	<p>日時：平成28年7月28日(木) 13:30~16:45 場所：向日市立向陽小学校 参加者：学校給食関係者 106名 内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 講演 「未来につながる食育のすすめ」 料理研究家 坂本 廣子 ○ 研究発表 <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校給食週間の取組について～食の世界遺産めぐり～ ・ 「食」に関する指導の充実を目指して

担当または窓口 農村振興課		施策 世代（子ども）	目標
取組事項名	子どもを対象とした農業体験の開催		
取組の内容	<p>将来を担う子どもたちの農業に対する関心を深めるために、子どもたちを対象とした植え付け体験や収穫体験等のイベントを、地域団体が主体となって開催します。</p> <p>目標：農業体験イベント 10地区</p>		
取組の実績 評価A	<p>実績：ふるさと保全活動を府内10地区で開催</p> <p>作物の植え付け、収穫、試食体験等、子どもたちに生産の楽しみ、食の大切さを知る機会となっています。</p>		

担当または窓口 農村振興課		施策 世代（若い世代）	目標
取組事項名	高校生・大学生による農業関連実践活動		
取組の内容	<p>人手が不足している農山漁村が、専門分野の知識・技術を一層深めることを目的とした農業関係等専門科を有する高校・大学等と連携し、農業用施設の保全管理、新たな特産品の開発など「食」に係る実践活動に取り組みます。</p> <p>目標値：参加学校数 5校</p>		
取組の実績 評価A	<p>実績：教育実践パートナーシップ活動や企画公募型ふるさと保全活動を府内5校で実施</p> <p>農業や郷土食、農業用施設の学習や農作業体験等、学生の知識を深める取組となっています。</p>		

担当または窓口 経営支援・担い手育成課（丹後王国「食のみやこ」）		施策 家庭	目標
取組事項名	府関連施設を活用した農林漁業体験（農業体験活動の推進）		
取組の内容	<p>丹後王国「食のみやこ」内の農園等において、果樹や野菜（ブルーベリー、サツマイモ等）の収穫など、「農業体験」活動を推進します。</p> <p>目標：740名</p>		
取組の実績 評価A	<p>ブルーベリー収穫体験(285名)、サツマイモ収穫体験(232名)、黒大豆苗定植体験(6名)、黒大豆枝豆収穫体験(24名)、黒大豆の味噌作り体験(25名)、ピオトープエリアでの田植え（もち米）体験(3名)、園内の除伐材を利用した薪割り体験（薪ササイズ）(114名)、地元わら材を使用したしめ縄作り体験（8名）、キノコの菌打ち体験（3月下旬開催予定約20名）</p> <p>また、地元高校生による園内花壇整備作業や中学生の牧舎等での職場体験も実施しました。（39名）</p> <p style="text-align: right;">合計 756名</p>		

担当または窓口 経営支援・担い手育成課（丹後王国「食のみやこ」）

施策 家庭

目標

取組事項名	府関連施設を活用した農林漁業体験（食を楽しみながら学ぶ機会の提供）
取組の内容	丹後王国「食のみやこ」内の加工施設等において、成形パン、アイスクリーム、クッキー等の「食」を楽しみながら学ぶ「手作り体験教室」を開催します。 目標：4,400人
取組の実績 評価A	成形パン、アイスクリーム、クッキー等の手作り体験教室の開催（3,243名の参加）のほか、「食」にかかわる取組みとして精進料理教室（29名）、そば打ち（4名）、ばら寿司作り（38名）、クリスマス向けパーティークッキング教室（17名）、ぴちぴちにぎり寿司作り（28名）、海洋高校ピヤベースラーメンレシピ講習会（31名）、園内で収穫したブルーベリーのジャム作り教室（33名）、餅つき体験（1/1～3、2/19計619名）等を開催しました。また、食人材学舎の研修・実習も昨年に引き続き開催しました（36名）。 合計 4,078名

担当または窓口 農林水産技術センター企画室（流通・ブランド戦略課）

施策 健康増進、京都ならではの

目標

取組事項名	京都発！「食とみどりのサイエンスNOW」の開催
取組の内容	府内産農林水産物に関する研究成果や最新情報を提供することで、府内産の特色ある食材を府民の皆様にご覧いただき、身近に親しんでいただく機会を提供します。 目標：1回
取組の実績 評価A	12月17日（土）、京都学園大学との共催により、同大学京都太秦キャンパスにおいて、約80名の参加のもと、「伝統産業を支える漆（うるし）・櫨（はぜ）」、「特産食品の開発に役立つ小麦新品種」、また「特大トリガイを生むオンリーワン技術」に関する講演会を実施し、来場者から大きな関心が寄せられ、理解促進につながりました。



担当または窓口 農林水産技術センター企画室（流通・ブランド戦略課）

施策 世代（子ども、若い世代、壮年期）、京都ならではの

目標

取組事項名	農林水産技術センター施設公開の開催
取組の内容	府内各地にある農林水産試験研究機関において、京野菜や京都米、丹後とり貝など、京都府の特色ある農林水産物のつくり方やおいしさの“ふしぎ”に触れながら、その魅力を体感できる施設公開を夏休み期間中に開催します。 目標：6回

取組の実績 評価A	府内 6 箇所にある各研究センター※において、府民の方々に普段は見ることができない研究施設や試験ほ場を案内し、最新の研究成果を紹介したほか、「夏休み宿題応援コーナー」を新たに開設し、研究員と実験や実習を体験しながら京都の農林水産業に興味を抱くよう工夫を凝らし、各地で大好評の施設公開となりました ※①5/1 茶業研究所(宇治市)、②7/28 農林センター(亀岡市)、③7/29 海洋センター(宮津市)、④8/18 畜産センター(綾部市)、⑤8/23 丹後農業研究所(京丹後市)、⑥8/26 生物資源研究センター(精華町)
--------------	---

担当または窓口 流通・ブランド戦略課		施策 世代(子ども)、家庭、京都ならではの	目標
取組事項名	女性農業者による食育活動と農山漁村伝承技能保持者による技術伝承活動		
取組の内容	京都府内の生活研究グループが取り組む郷土料理講習や農業体験などの食育活動を支援します。また、農山漁村伝承技能保持者が行う、農山漁村に伝わる技能伝承活動を支援します。 目標：4回		
取組の実績 評価A	京都乙訓、綴喜、綾部市、福知山市等で活動する生活研究グループ地域連絡協議会が小中学生や地域住民を対象に郷土料理講習会などの食育活動を多数開催し、郷土の味の魅力に気づいてもらえるきっかけ作りに努めました。 また、各地域に保持されている技能登録・匠認定者の講師活動や伝承活動の場づくりを行い、啓発・PR することにより、各種メディアに取り上げられました。		

担当または窓口 流通・ブランド戦略課		施策 高齢者 京都ならではの	目標
取組事項名	農山漁村伝承技能の登録・認定		
取組の内容	農山漁村地域において長年にわたり培われ、行われてきた伝統的又は優れた生産・生活に係る技能を保持し、農林水産業や地域振興に意欲を持って技能の伝承活動ができる65歳以上の府内在住者を登録しています。その中で、極めて優れた技能の保持者については、京都府の「農の匠」、「山の匠」、「海の匠」として認定し、京都府ホームページで紹介します。 目標：1回		
取組の実績 評価A	684名の技能登録者の中から、京の伝統野菜「もぎなす」の種子保存や宇治茶の栽培、製茶技術等、特に優秀な技能を有する6人の「農の匠」と1人の「海の匠」を認定しました。		

担当または窓口 農産課		施策 世代(若い世代)	目標
取組事項名	「京都米の良さ発見」提案事業の実施		
取組の内容	(一社)京都府米食推進協会が、京都の大学、短大、専門学校で学ぶ学生を対象に京都米全般に関する事業提案及び米をはじめとする地域の特産物の特徴や食文化に関する調査研究を通じて、学生に京都米の良さを再発見してもらうとともに、その提案を活用して府民に対して京都米や地域の特産物の知識を広げる活動を行います。		

<p>取組の実績 評価A</p>	<p>募集の結果、5つの提案があり、優秀な提案に表彰を行いました。上位入賞した取組については、京都府の公式クックパッドにレシピを掲載し、京都米の良さや地域特産物のPRを行いました。</p> 
----------------------	---

<p>担当または窓口 農産課</p>	<p>施策 ライフスタイル</p>	<p>目標</p>
<p>取組事項名</p>	<p>京都米提供店の登録</p>	
<p>取組の内容</p>	<p>(一社)京都府米食推進協会が、京都米を使用しているホテル、料理店を京都米提供店として登録し、広く府民に京都米を知らせます。また、登録章の交付式において、消費者、生産者、流通に関わる団体が意見交換を行います。</p>	
<p>取組の実績 評価A</p>	<p>京都米提供店が総計170店舗に達しました。今年登録された店舗へ、登録章の交付式が行われ、同時に意見交換も行われました。</p> 	

<p>担当または窓口 農産課</p>	<p>施策 世代(子ども)</p>	<p>目標</p>
<p>取組事項名</p>	<p>茶育の推進</p>	
<p>取組の内容</p>	<p>小学生を対象とした「キッズ茶ムリエ」の開催(山城広域振興局)や小学校での「宇治茶ふれあい教室」(茶協同組合)による茶育を行います。</p>	

取組の実績
評価A

■キッズ茶ムリエ

- 将来の宇治茶ファンを育てるため、小学3～6年生を対象に、キッズ「茶ムリエ」検定として宇治茶大好き検定（ペーパーテスト）、お茶の飲み分け検定（茶香服）、お茶の淹れ方教室等を実施しました。
- 山城地域の5会場で321人の小学生が参加し、検定合格者189名に認定証を交付しました。
- アンケートでは、参加者の88%が「宇治茶が好きになったか」と回答。
- 同時に、家庭でもお茶に親しめる雰囲気づくりのため、保護者向けにも宇治茶の淹れ方教室を行いました。

■宇治茶ふれあい教室

- 京都府内の小学校等37校、2,000名以上を対象に、茶香服や淹れ方、石臼体験等の実演、お茶の効能の説明等を授業の一環として実施しました。

キッズ茶ムリエの様子



担当または窓口 農産課

施策 ライフスタイル

目標

取組事項名

環境にやさしい農業に取り組むエコファーマーと消費者の交流会の開催

取組の内容

府庁旧本館こだわりマルシェ他で、環境にやさしい農業への理解を深めるため、エコファーマーと消費者との交流会を開催します。
目標：3回以上

取組の実績
評価A

実績：5回



府庁旧本館こだわりマルシェの様子

担当または窓口 水産課		施策 世代（子ども）	目標
取組事項名	学校での水産教室の開催		
取組の内容	子どもたちの水産物に対する興味を喚起し、理解を深めるため、京都府職員が各種学校へ出向き、講義を行います。		
取組の実績 評価A	漁業士とともに小学生を対象とした水産教室を開催しました。 実施回数 3回、参加者数 計 107名（児童 99名、教員 8名） ① 5月26日(木) 舞鶴市 倉梯小学校 6年生 77名、教員 4名 ② 9月27日(火) 舞鶴市 大浦小学校 5年生 11名、教員 2名 ③ 2月16日(木) 宮津市 養老小学校 5年生 11名、教員 2名		

担当または窓口 水産課		施策 世代（全世代）	目標
取組事項名	都市漁村交流の促進		
取組の内容	丹後の水産物に対する都市住民の理解を促進するため、丹後水産物のPRや漁業・漁村体験等の都市漁村交流事業を行う団体を支援します。		
取組の実績 評価A	京都府漁協（舞鶴支所分） 舞鶴湾かき小屋「美味星（おいすたあ）」 実施期間 6～8月、12～3月 利用者数 約 6,000名 ※利用者はほぼ大人。都市住民等の詳細な区分はできていない。 ※H28年12月～H29年3月は見込みを現地聞き取り。		

担当または窓口 商業・経営支援課		施策 世代（高齢者）	目標
取組事項名	高齢者等への買い物支援		
取組の内容	商店街団体等が地域コミュニティの核となるような特色づくりに取り組む事業を支援する中で、地域の生活支援商店街など、高齢者等の買い物弱者の買い物の利便性を高め、生活の質の向上を図るとともに商店街の振興につながる事業を支援します。		
取組の実績 評価A	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者向けのお買い物お手伝いサービスや子供・老人が集うコミュニティサロンを運営（北区） 		

担当または窓口 ものづくり振興課		施策 家庭	目標
取組事項名	農林水産フェスティバルへの出展（実施団体：食品産業協会）		
取組の内容	農林漁業者・関係団体の参加を促し、農林水産物や加工品等の展示、試食、販売を通し、消費者との交流を図ることで、食への意識向上を図ります。 目標：1回（毎年実施）		



取組の実績 評価A	実績：1回
	<p>○日時 平成28年11月26日（土）、27日（日）</p> <p>○場所 京都府パルスプラザ</p> <p>○内容 出展を通じて、京ブランド食品「京都吟味百撰」のPRを実施 来場者は、約44,000人</p>
	

担当または窓口	ものづくり振興課	施策	健康増進	目標	5
取組事項名	食品表示法・HACCP研修会の開催（実施団体：食品産業協会）				
取組の内容	<p>食品製造業者向けに食品表示法及びHACCPに関する研修会を行い、適正な情報を記載している食品の流通を目指します。また、HACCP導入を推進し、食品製造・加工における衛生管理の向上を図り、消費者の健康増進へ繋がります。</p> <p>目標：1回</p>				
取組の実績 評価A	<p>実績：2回</p> <p>【1回目】</p> <p>○日時 平成28年6月23日（木）</p> <p>○場所 京都ブライトンホテル</p> <p>○内容 「食品表示基準の変更及びHACCPの義務化について」の講演会</p> <p>○講師 (株)角野品質管理研究所 代表取締役 角野久史氏</p> <p>○参加者 食品製造業者75名</p>  <p>【2回目】</p> <p>○日時 平成29年2月22日（水）</p> <p>○場所 ANAクラウンプラザホテル</p> <p>○内容 「HACCPの制度化と原料原産地表示の拡大について」講演会</p> <p>○講師 一般社団法人食品産業センター 専務理事 花澤達夫氏</p> <p>○参加者 食品製造業者85名</p>  				

担当または窓口 海と星の見える丘公園（自然環境保全課）

施策 世代（子ども、若い世代、壮年期）、健康増進、家庭、ライフスタイル、京都ならではの



目標



取組事項名	郷土料理作り
取組の内容	体験プログラムの一つとして実施。講師は地域の方。その際に生き物と食物との循環や郷土料理について学習したり、魚さばきなど地域の調理方法を教えます。 ☆小学校での利用などで年3回程度
取組の実績 評価A	地元の方と小学生や団体との交流を図りつつ、郷土料理の作り方や味を伝えることができました。目標の3回よりも多い6回実施することができました。 実施回数：6回  

担当または窓口 海と星の見える丘公園（自然環境保全課）

施策 世代（子ども、若い世代、壮年期）、家庭、ライフスタイル、京都ならではの

目標

取組事項名	おくどさん体験及び夕食づくり
取組の内容	小学校利用や親子での利用。「おくどさん」でご飯を炊き、公園内でとれた木を薪にして燃料として使います。
取組の実績 評価A	単なるおくどさん体験ではなく、森からの材料集めや火のつけ方なども教えることで、森の活用法を伝えることができました。 実施回数：10回  

担当または窓口 海と星の見える丘公園（自然環境保全課）		施策 世代（子ども、若い世代、壮年期）、 家庭、京都ならではの	目標
取組事項名	石窯パン・ピザ作り		
取組の内容	親子で石窯によるパン・ピザ焼きを体験。京都府産小麦を使い、フードマイレージの話などもします。		
取組の実績 評価A	親子行事だけでなく、一般の団体なども利用いただきました。 実施回数：10回 <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">   </div>		

担当または窓口 海と星の見える丘公園（自然環境保全課）		施策 世代（子ども、若い世代、壮年期）、 家庭、京都ならではの	目標
取組事項名	巨大パエリア作り		
取組の内容	アースデイ丹後のイベントの一つ。巨大な鍋でパエリアを作る。燃料は公園内でとれた薪を使用。材料は近くの海で獲れた魚介類を使います。		
取組の実績 評価A	恒例行事となりつつあるアースデイ丹後において、こちらも恒例イベントとなってきました。丹後の海で獲れた魚介類を大勢の方に味わっていただく機会となっています。 実施回数：1回 <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">   </div>		

3 第3次京都府食育推進計画目標に関する年度別目標数値及び達成状況

項 目		年度	策定時 (H26)	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
1	実践型食育を実施している小・中学校の割合（新規）	目標	—	65%				100%
		達成状況	57%	73%				
<p><目標設定の考え方>食育基本法において、重要とされている農業体験・調理などの実践型食育を強化し、とりわけ、子どもたちへの食育を重点化したいと考えています。（農林水産部食の安心・安全推進課）</p>								

項 目		年度	策定時 (H26)	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
2	「お弁当の日」を実施する府内の学校の数（新規）	目標	—	22校				30校
		達成状況	20校	22校				
<p><目標設定の考え方>食育基本法において、重要とされている農業体験・調理などの実践型食育を強化し、とりわけ、子どもたちへの食育を重点化したいと考えています。（農林水産部食の安心・安全推進課）</p>								

項 目		年度	策定時 (H26)	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
3	学校給食への地元農林水産物の供給品目数の割合	目標	—	22%				30%
		達成状況	18%	16.4%				
<p><目標設定の考え方>地産地消を推進し、栄養価の高い食事を確保するだけでなく、輸送エネルギーなどの発生抑制など環境にも配慮しつつ、全ての世代がその恩恵に浴することを促進したいと考えています。（農林水産部食の安心・安全推進課）</p>								

項 目		年度	策定時 (H26)	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
4	大学、企業、老人施設等の食堂で地元農林水産物を多く使用する「たんとおあがり京都府産施設」の増加（新規）	目標	—	157施設				200施設
		達成状況	145施設	154施設				
<p><目標設定の考え方>地産地消を推進し、栄養価の高い食事を確保するだけでなく、輸送エネルギーなどの発生抑制など環境にも配慮しつつ、全ての世代がその恩恵に浴することを促進したいと考えています。（農林水産部食の安心・安全推進課）</p>								

項 目		年度	策定時 (H26)	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
5	食品表示法や機能性表示食品等に関する講習会の開催（新規）	目標	—	年5回				年5回
		達成状況	—	年5回				
<p><目標設定の考え方>食品表示等に関する知識等を取得することで府民の健康増進につなげたいと考えています。（農林水産部食の安心・安全推進課）</p>								

項 目		年度	策定時 (H26)	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
6	「きょうと健康おもてなし食の健康づくり応援店」の増加（新規）	目標	—	550店舗				800店舗
		達成状況	567店舗 食情報提供店	754店舗 食情報提供店				
<p><目標設定の考え方>①野菜たっぷりメニュー、②塩分控えめメニュー又は③アレルギー表示のいずれかを実施している「きょうと健康おもてなし食の健康づくり応援店」を増加させることで、府民の健康増進につなげたいと考えています。（健康福祉部健康対策課）〔第4次京都府食の安心・安全行動計画との共通目標〕</p>								

項 目		年度	策定時 (H26)	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
7	食の安心・安全府民大学の開講（新規）	目標	—	年6回				年6回
		達成状況	—	年14回				
<p><目標設定の考え方>食の安心・安全に関すること、調理に関すること、食を選ぶことに関すること、京都の食文化に関することなど、食に関することを総合的に学べる機会を提供することで、家庭の食育推進など、複合的な効果を発揮したいと考えています。（農林水産部食の安心・安全推進課）〔第4次京都府食の安心・安全行動計画との共通目標〕</p>								

項 目		年度	策定時 (H26)	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
8	朝食を毎日食べる府内小学生の割合（6年生）	目標	—					95%
		達成状況	87%	86.2%				
	朝食を毎日食べる府内中学生の割合（3年生）	目標	—					90%
		達成状況	82%	81.1%				
<p><目標設定の考え方>朝食は、極めて重要な働きをしており、とりわけ、子どもたちが朝食を欠食しないよう家庭に働きかけていきたいと考えています。（教育庁学校教育課）</p>								

項 目		年度	策定時 (H26)	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
9	食のみらい宣言（食育宣言）を行い、健全な食生活をおくる府民	目標	—	2,000人				10,000人
		達成状況	—	2,149人				
<p><目標設定の考え方>単独世帯の増加など、様々なライフスタイルがあり、家庭だけでなく、府民がつながり、個々の自発的な食育活動につなげたいと考えています。（農林水産部食の安心・安全推進課）〔第4次京都府食の安心・安全行動計画との共通目標〕</p>								

項 目		年度	策定時 (H26)	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
10	食事の宅配事業を実施する「京野菜ランド」の数	目標	—	1箇所				5箇所
		達成状況	—	1箇所				
<p><目標設定の考え方>今後の少子高齢化の進展を踏まえれば、自ら調理できない方の増加も見込まれ、地産地消を前提とした良質な食事を提供できる環境整備が必要と考えています。（農林水産部食の安心・安全推進課）</p>								

項 目		年度	策定時 (H26)	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
11	京都における季節の行事食などの研修会の実施	目標	—	年4回				年4回
		達成状況	—	年7回				
<p><目標設定の考え方>和食のユネスコ無形文化遺産登録に代表される京都の食文化を積極的に後世に残していく必要があると考えています。（農林水産部食の安心・安全推進課）</p>								

項 目		年度	策定時 (H26)	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
12	「きょうと食いく先生」の授業数の増加	目標	—	160授業				300授業
		達成状況	108授業	202授業				
<p><目標設定の考え方>食に関するエキスパートである「きょうと食いく先生」が持つ、知識や経験を子どもたちや府民に広げることにより、京都の食文化の裾野を広げていきたいと考えています。（農林水産部食の安心・安全推進課）</p>								

項 目		年度	策定時 (H26)	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
13	「健康ばんざい京のおばんざい弁当」の販売数	目標	—	年15,000個				年15,000個
		達成状況	年6,285個	年15,004個				
<p><目標設定の考え方>「栄養」や「京都らしさ」の一定の基準を満たした「健康ばんざい京のおばんざい弁当」を広めることで、京都の食文化の継承など、複合的な効果を発揮したいと考えています。（健康福祉部健康対策課）〔第4次京都府食の安心・安全行動計画との共通目標〕</p>								